



JA ASAHIKAWA

あさひかわ

JAあさひかわ
11月号 2008 VOL.130
11

【特集1】

「あさがお」でイベントもりだくさん

“地産地消”的輪で消費拡大

【特集2】JAあさひかわクリッキングフェスタ
テーマはもちろん“地産地消”です。

農産加工あれこれ

「ゆうきくん」から生まれたたくさんの“夢”

<http://www.ja-asahikawa.or.jp>JAあさひかわ
11月号 2008 VOL.130
29平成16年11月
1日発行■発行元:JAあさひかわ農業総合組合 総務部会員課課長
■編集・企画:田原林(株)フライビー・農文協

温泉湯治と歌謡ショー 2泊3日

人気演歌歌手、多岐にわたる夢の競演、豪華トークひみときと
心を暖め、から恋を告げ…春やかの街にぬくもりが傳ります。

- 出発日/平成18年12月5日(火)~7日(木)
- ご旅行代金/29,800円(1室4名様以上)
- 専用人員/200名
- お食事/朝2回・昼1回・夕2回
- 利用ホテル/定山温泉万葉ホテルミリオネ
- 添乗員/同行します

お問い合わせ
JAあさひかわ旅行センター

TEL 31-3188

あからい家づくり
あなたの豊かな暮らしをサポート
から管理まで。
します。



ステップ1

安心・安定の不動産売買、 賃貸経営のご提案

建物計画、経営計画、資金計画、初めての方にも七面手で
対応させていただきます。



ステップ2

入居者の斡旋

共同住宅(賃貸マンション)
における入居者の斡旋はも
ちろんのこと、契約業務につ
いても代行いたします。



ステップ3

万全の管理

共同住宅(賃貸マンション)
における賃貸の管理、賃料
入金管理、退去届の立て代
行事をいたしますので、安心
した不動産経営が可能です。

その他、不動産に関するご相談も承っております。
組合員の方はもちろん、また組合員ではない方もお気軽におご相談下さい。

あさひかわグループ
旭川協同総業株式会社

東北新幹線

■本社

〒070-8005 江別市神楽5条8丁目1番16号

TEL (0166) 61-8966 FAX (0166) 61-8450

〒070-0901 江別市花咲町1丁目

TEL (0166) 54-4753 FAX (0166) 53-0466

〒078-8551 旭川市開光11条4丁目1番23号

TEL (0166) 37-8611 FAX (0166) 33-8620

稻 農業一筋で初代から受け継がれてきた農家の運営実態。多様化を進める中で、昭和32年作田を利用して野菜へ転じました。初の畠替も少し遅めで、昭和33年に、トマト栽培(トマトベニントン)をしました。市民農園の開拓地で販賣してもらうために、販賣部設立したので、「本格的」の外洋式(トマト)栽培になりました。(しかし)、最初に乗り始めた矢先に、「米袋盗」の事務で、周囲の反対もありました。やがて、昭和4年には自社の工場を建つ、トマトショース「ゆうさんくん」を精力的に製造・販売しました。その後、製全般展開で儲けた今、栽培作物を含む人参考コース「きやちゅうど」を始め、今はなまでは、すべて農場原料となる農産物は、すべて農場内で栽培し、来園されるお客様が大変であることを第一に。安全・安心化を図るために、加工工場は、市民農園の会員さん達が農園の代表となって、耕作用の工具(ヤム、おがず)等も販売しています。商品化することで、生産者自身の収入が増加する仕組みで、これがユニークなショースとなっています。「こぢら」の名前を継いでいます。また、トマトジュースの販売先が

「農園のお客様」はまたたくさん試食してもらっていることになります。が、これからも農業を負けじとなく、農業人としての誇りを胸に新しい加工品を作り続けてまいります。



農産加工
あれこれ
おっ!
うまいね。

「ゆうきくん」
から生まれた
たくさんの“夢”

(有)谷口農場
代表 谷口 威裕



連絡先：旭川市東旭川町共栄255番地
TEL 34-6699
直売店：まつかなトマト
TEL 38-6336

消費者に必要とされる野菜を作りたい。



細谷 亨

- ① 昭和46年7月8日
- ② 母
- ③ バイク
- ④ 平成5年から
- ⑤ 野菜販賣業（パセリ）
- ⑥ 規模拡大をし、高収入をあげられる経営体。
- ⑦ 消費者に必要とされる野菜を作りたい。
- ⑧ もっと資本の割引をしてほしい。
- ⑨ やさしい女性

農業は“脳業”だと思うので、体と脳を全力で活用して農業に取り組みたい。



水口 仁志さん

- ① 昭和48年6月3日
- ② 妻、息子、両親、妹、祖母
- ③ バレーボール
- ④ 大学卒業後（一年間群馬キャベツ農家他人生経験込み）
- ⑤ 稲作・高粱イチゴ
- ⑥ 毎年、前年の純利益よりもプラスにすること。
- ⑦ 農業は「農業」だと思っていて、先輩達に負けないように、毎年、体と脳を全力で活動して農業に取り組みたい。
- ⑧ 色々あるが、一番の希望は北海道農家の品質を下げず、また、次世代（我々の時代）の北海道農業を守るために低タンパク米の加工資金を上げて欲しい。

●1 生年月日 ●2 家族構成 ●3 趣味 ●4 農業開始時期 ●5 現在の農業経営スタイル ●6 目標(理想)とする経営スタイル
●7 農業に対する抱負 ●8 農協に対する希望や要望 ●9 独身者は、深窓の女性像

WTO農業交渉の基礎研究① WTの行方と農業経営の関連

理解するための基礎知識

2004年7月の「枠組み合意」を受けモタコトイ（日獨共通のルール）づきで開かれたWTO農業交渉は、今年7月に開かれたG-6閣僚会議でも合意に至らず、「凍結」が宣言された。暗礁にのりあげたWTO農業交渉の、いま、を研究してみよう。

WT-O 業界大半は、収益をもとの
必要性、重要性は認めていたが、
それぞれ国内事情を抱えていたから
それが「一九四八年の世界恐慌」
ま。研究報告書では、「やむを得ず」[二]
TO（世界貿易機構）とは何か？
簡単に復習しておき。

2010



モダリ

WT-O農業交渉のボイントは3つある。まず、1つは「規制緩和」などによる市場開放を主張する「市場開放セクター」、2つ目は、我が国内の補助金などを削減する「規制緩和セクター」、3つ目は、輸出補助金などを削減する「規制緩和セクター」だ。

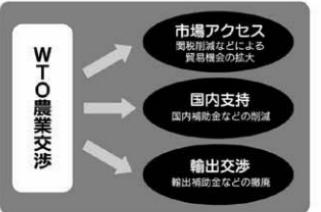
WT-Oの大aimである規制緩和が進むにつれて、日本の農業のなかで、2004年7月、「農業ワールド規制緩和」として、歴史ある農業機械や農業用土木機械などの規制緩和を実現する「議定書」を作成した。しかし、この規制緩和には、これまで前例にならぬ大きさを示すものとされるべき規制緩和が含まれた。これが規制緩和の特徴とも言える。それが、「規制緩和」である。規制緩和によって、各農業機械規制緩和セクターは規制緩和を実現する「議定書」を作成した。規制緩和の範囲は、農業機械や農業用土木機械などの規制緩和を実現する「議定書」である。

WT-O農業交渉のボイントは3つある。まず、1つは「規制緩和」などによる市場開放を主張する「市場開放セクター」、2つ目は、我が国内の補助金などを削減する「規制緩和セクター」、3つ目は、輸出補助金などを削減する「規制緩和セクター」だ。

WT-Oの大aimである規制緩和が進むにつれて、日本の農業のなかで、2004年7月、「農業ワールド規制緩和」として、歴史ある農業機械や農業用土木機械などの規制緩和を実現する「議定書」を作成した。しかし、この規制緩和には、これまで前例にならぬ大きさを示すものとされるべき規制緩和が含まれた。これが規制緩和の特徴とも言える。それが、「規制緩和」である。規制緩和によって、各農業機械規制緩和セクターは規制緩和を実現する「議定書」を作成した。規制緩和の範囲は、農業機械や農業用土木機械などの規制緩和を実現する「議定書」である。

モダリティとは？

○農業交渉の3分野



議で、国内支持につけてミシシガの20
(インドなど20カ国)が、アメリカの
国内支持をもつて減らすべきだと要
求したのに対し、アメリカがかたたく
なにこれを拒んだことが凍結の主要
な要因になつたといわれる。そこには
至らざるを得なかつた背景について

「ウルグライアでの交渉（ウルグライア・ラテン・パートナーズ）で賛成されたWTOについての説明」。貿易交渉のほかに、紛争処理についての新規が加わったことについて、WTO-Oが説立されたた。もあって、WTO-Oが説立されたた。もちろん、内容はほとんど「根本的」同じである。以後、貿易交渉などをWTO体制のなかで運営されてきた。

神居 窪田久雄さん(写真右)

今年も、全地区1等米
になりました！

平成18年産
米初出荷

平成18年産米の初検査は、9月14日に神居地区を皮切りに始まった。6月の低温で生育が少し遅れたものの、7月下旬から8月にかけて高温、好天が続き、生育も順調であった。所前検査では、今年も全地区1等米であった。

旭川中央 只石武さん(写真左から2番目)、
岩井敬樹さん(写真左から3番目)



菅原美智子さん(写真左)、
宮下宏羽さん(写真左から2番目)、
真鍋正一さん(写真左から3番目)、
平野明美さん(写真右から2番目)、
大西勇治さん(写真右)

永山



旭正 岩崎裕さん(写真右から2番目)

北野 山下夷明さん(写真左から2番目)、
中井孝之さん(写真左から3番目)、
村田哲雄さん(写真右)



▲今年は順調に生育が進み、秋の収穫が楽しみ

神居

順調なそばの生育
に期待高まる
平成18年産そばの収穫始まる

天候に恵まれ、
屑米160俵を集荷
北野支所青年部が屑米集荷実施



▼青年部の協力により、作業はスムーズに行われた



5年ほど前までは、約1・5
100億円集荷するのに、ある
日でかがってしまった。新聞た
も力をあらわすままの感である。
近年、上川ライスター・ミナル
の有効利用などにより、集荷
の肩手の徴象を感じているが
「農協事業への協力」ということ
で肩手集荷事業をこれからも続
けていきたいと思つていただいた



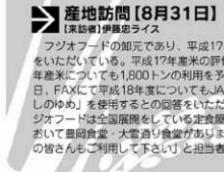
■ 产地訪問【8月4日】

[来訪者]白鶴酒造・三菱商事・ホクレン大阪支店

J.Aの酒造好適米の取り組みについて説明をし、平成18年産米から利用をお願いした。白麹酒造では、これまで北海道酒造好適米を使用していないかったが、平成17年産米のサンプルから品質的に他県産銘柄と遜色なくなったこと。また、省税法の改正で米の使用率が変わり、酒米の利用が考えられるから、J.Aあしかわ産の酒造好適米(吟風)を使いたいとの回答をいただいた。

▶ 产地訪問【9月7日】

5月に一度、来訪され、平成18年産米に向けたJAの取組状況について確認された。今回も、平成18年産米の作病のぼ場を確認に来訪したとのこと。平成18年産米の生育状況も良く、良質米が期待できうるので、11月から使用したいとの回答をいただいた。



訪問 [8月31日]

「ジオフード」の御元であり、平成17年産より産地指定をいたしました。平成17年産の評価も高く、平成18年産についても1,800トンの利用を予定している。(後日、FAXにて平成18年産についても「あさひわかな」「ほしのゆめ」を使用するご回答をいたしました)。また、「ジオフード」は全国展開をしている会社で、「旭川市において開設店舗・大雪通り食堂があげます。ぜひ、組合員の皆さんご利用して下さい」とお詫びは認っていました。



コントラクター旭川が出動 昨年より早く、大豆刈り取り作業始まる

9月下旬から、大豆の刈り取り作業が盛期を迎えてる。

今年は昨年より3ヶ月ほど早い。（右）コントラクター旭川が中心となつて、沢田コンバイン3台を駆使して作業に取り組んでいた。永山や北野地区の白大豆についても、今年から、「コントラクタ一旭川が中心となり、大豆刈り取り調整をする」ことになり作業範囲が増えていた。

また、旭正地区で、付されてしまう大画面は、約180頭。そのうち黒大豆が10頭となつていて、昨年に比べると少しだけ作付面積が多くなっている。天候にも左右されるが、刈り取り作業は、例年、10月末まで焼けられると予定となっている。

今年は、7・8月の降雨で収量への影響が心配されているが、作況調査ではそれほどの落込みがなかつた。それでも、生産者の皆さんへ、収穫の結果を楽しみにしていて。

（左）河内地区の農地でも、作況調査ではそれほどの落込みがなかつた。生産者の皆さんへ、収穫の結果を楽しみにしていて。



▲コントラクター旭川が中心となって行われた大豆の刈り取り作業

中里哲夫さんが 昨年に続き2連覇達成 パークゴルフ部会が第2回大会



10月3日（火）、永山年金友の会パーゴルフ部会（会長、河内弘志、会員数55人）の第2回大会が開催された。河内弘志、会員数55人の第2回大会が開催された。

今回の大会には35の会員が参加し、要別地区の要パークゴルフ場でウエーブを競った。少人数ながらも参加者の熱気におされたのが、前日の雨せりがり、和となった。

永山

▼天候にも恵まれ、少人数の参加者ながらもパークゴルフを楽しんだ



近文クロバー友の会チームが優勝 旭川中央3地区対抗でパークゴルフ大会

8月24日（木）、旭川中央墓幹友所管内3地区（近文クロバー友の会、神楽年金友の会、永山年金友の会）による対抗パークゴルフ大会が開催された。前日からの雨が降り止まらず止かと思われたが、会開催した。各地区に在籍のスクアドン合計で団体戦を争った結果、優勝は、近文クロバー友の会。第2位が北部友の会、第3位が北野友の会。年金友の会がかなり差で神楽年金友の会と人並では高瀬次男さん（近江・岩崎謙子さん（北原）がぞれ優勝した。

ホールインワン 飛び出す！ 神楽年金同友会 パークゴルフ大会開催



中央



▲記事優勝した近文クロバー友の会チーム

（左）合計で団体戦を争った結果、優勝は、近文クロバー友の会。第2位が北部友の会、第3位が北野友の会。年金友の会がかなり差で神楽年金友の会と人並では高瀬次男さん（近江・岩崎謙子さん（北原）がぞれ優勝した。

初めての大会で、参加者は、ケガもなく大いに楽しめた。差してしまった様子。今度は、「基礎友所が扶助金を出しました」との声も上がっていた。

神楽年金友の会（会長、森山茂、会員数20名）は9月20日（火）、平成18年度第2回パークゴルフ大会を開催した。

前回大会は、あいにくの天候であったが今回は晴れた快晴となり、絶好のコンディションの中、なり、総勢のメンバーは、大いに参加者の40名のプレーが、盛りだかりでした。全員、皆とても「無事

